

日本商工会議所岡村会頭と三重県商工会議所連合会との懇談会を開催

三重県商工会議所連合会（会長・竹林武一）は、10月11日（月）鳥羽国際ホテルにて、日本商工会議所岡村会頭と三重県商工会議所連合会との懇談会を開催しました。

当日は、県下12の商工会議所から会頭や専務理事ら25名が出席、日本商工会議所からは、岡村会頭をはじめ坪田理事・事務局長など5名が出席されました。

懇談会では、竹林会頭が「当連合会は、各種事業に積極的に取り組み、地域経済の活性化や地域のオピニオンリーダーとしての役割を果たしてまいりたいと考えています。本日は、是非、岡村会頭に地域の景気動向や実情をお聞きいただき、有意義な意見交換の場としたい」と述べました。

岡村会頭は、まず「東日本大震災ならびに台風12号で被災された県内地域の早期復旧をお祈りします」と述べられ、その後「現在の日本経済は、東日本大震災に加え、長期デフレによる経済停滞、超円高・国内産業の空洞化に直面しています。そこで、9月の新内閣発足後、野田内閣総理大臣をはじめとする関係閣僚に日本再生の要望書をお渡しその実現を強く求めました。私たちもこの幾多の難局を乗り越えたため、全国の商工会議所がより一層連携し、商工会議所の使命と役割を果たしていく必要があります。」と述べられました。

その後、四日市、伊勢、桑名、亀山商工会議所等の会頭から、インフラ整備や中小企業への支援、会員・職員の意識改革、個々の企業が光るイノベーション、商工会議所運営上の事務手続きの簡素化などについてそれぞれ意見交換を行いました。



▲挨拶する竹林連合会会長



▲挨拶する岡村日本商工会議所会頭